

・『道は開ける』
 デール・カーネギー／著

・『なぜ男女の賃金に格差があるのか』
 クラウディア・ゴルドイン／著 鹿田昌美／訳 (慶應義塾大学出版会)

市で活躍する人による本の紹介を通して、皆さんも特別な1冊を見つけてみませんか。

『道は開ける』

デール・カーネギー／著

私にとって読書は気持ちの整理や前向きな行動につながる事が多く、悩んだり、落ち込んだり、立ち止まったりした時に向かうのは図書館や本屋さんです。

高校3年生のころから60年近くお守りのように私の本棚に立っているのはデール・カーネギーの『道は開ける』です。

受験生の私が先の見えない悩みを抱えもがき苦しんでいたとき、友達が「これを読んでごらん」と差し出してくれたのがこの本でした。その中には、求めていたメッセージがたくさんありました。過去の失敗を今も引きずり起こるかも分からない未来を見ていること、落ち着いて今日1日を最大限活用して行動することなど、受験勉強中の私の心にとにかく、前を向いて今を頑張るしかないという思いが湧き上がったのを覚えています。

それから人生のさまざまな曲がり角でこの本を開き、教えられ、諭され、励まされ、気持ちを切り替えました。今でもページをめくりながら、そのころのことを懐か

しく思い出します。きっとこれからも傍において何度も読み返し背中を押してもらおうことでしょう。

『なぜ男女の賃金に格差があるのか』

クラウディア・ゴルドイン／著

昨年ノーベル経済学賞を受賞したクラウディア・ゴルドイン教授のこの著書が貴重な一冊になりました。

アメリカ経済の歴史的变化のデータとともに男女間の賃金格差が生じる原因について、具体的な事例で分かりやすく解き明かされています。

まどかぴあ男女平等推進センターで市民のみなさんと学び続けてきた課題を振り返りながらページをめくっていただきます。



本の詳しい紹介は、ホームページで見ることが出来ます。

●問い合わせ先

◇コミュニティ文化課芸術文化

担当 (580)1996

◇まどかぴあ図書館

(586)4010



あけてみよう!

歴史のとびら

173

大野城心のふるさと館のおすすめ②

〈時代を写した絵葉書〉

絵葉書は明治33年(1900)に日本で初めて発行されました。個人用カメラが普及していなかった当時、絵葉書は旅の思い出を残す役割を持っていました。観光地の風景を写した絵葉書も数多く発行され、お土産として人気でした。また、絵葉書は当時の様子を知ることができる貴重な歴史資料でもあります。

1月6日(土)から、心のふるさと館で、レトロ絵葉書展「温泉天国九州」を開催しています。日本でも有数の源泉数を誇る温泉天国・九州。そのなかでも今回は13カ所の温泉地を取り上げ、明治時代末から昭和40年代までに発行された絵葉書41点を展示。温泉街や旅館、名勝の様子が写された絵葉書から、各温泉地にまつわる伝説や習俗、歴史について紹介いたします。

また、明治時代や大正時代になると、湯治場や観光地として大いに賑わい、多くの温泉宿が建ち並びました。

現在の様子の写真を絵葉書と並べて展示していますので、当時の風景と比べてみるのも楽しいかもしれません。温泉が恋しくなる寒い季節に温泉地の絵葉書を眺めてほっこりしませんか。



昭和後期に撮影された二日市温泉湯町通りの絵葉書

●問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当

(558)2206